中山から大峰山・桜の園を歩く

第 103 回武庫川エコハイク
151121 エコグループ・武庫川

武庫川 全長 65km、流域面積 500km²、篠山市、能勢町、三田市、神戸市北区、西宮市、宝塚市、伊丹市、尼崎市の 7 市 1 町を流域に持ち県内有数の人口・資産を抱える 2 級河川である。「武庫川」の名は下流の右岸が武庫郡であり、武庫郡は日本書紀にある「務古水門(むこみなと)」からとか、浪速から見て「向こう」にあるからとか諸説がある。本川の源流は篠山市にある。篠山市から三田盆地までは緩やかな傾斜であるが、道場を過ぎると武庫川渓谷の急流となる。武庫川下流の治水対策として武庫川渓谷に治水ダムが計画されたが、県は武庫川流域委員会を設置して 2 年半にわたり協議した結果、平成 22(2010)年 10 月、20 年間はダムによらず流域対策と堤防強化、河道掘削で治水対策を実施することとなった。

阪急中山観音駅 明治 43 年箕面電気軌道(後に阪急電鉄)中山駅として開業。阪急最古の駅のひとつ。平成 25 年 12 月中山観音駅と改称。

中山寺 聖徳太子創建の寺で、仲哀天皇の先后大仲媛とその子忍熊王(おしくまおう)の慰霊のために建立されたという。西国三十三所観音巡礼の二十四番札所。また豊臣秀吉が子宝に恵まれず、中山寺の祈祷によって秀頼を授かったという。現在の本堂は秀頼が再建したもの。安産守護の寺院として著名。国指定文化財の仏像に木造十一面観音立像、木造薬師如来坐像、木造聖徳太子坐像、木造大日如来坐像がある。

白鳥塚古墳 中山寺境内にある古墳。7 世紀古墳後期のものといわれる。

伊子志の渡しの常夜燈 中山寺境内に移設されている。安政 4(1857)年の銘がある。

宝塚北中山やすらぎの道(宝塚自然休養林) 北中山国有林を中心にした自然休養林。自然休養林は森林を中心としたレクリエーションゾーンで県内ではここだけ。長尾山山系の貴重な緑を残している。

足洗川 天王寺川の源流。堰堤付近から2級河川足洗川天王寺川はこのあと勅使川、天神川を合流し伊丹市西野で武庫川に合流する、昔聖徳太子が中山寺創建の地を求められていた騎乗した馬とともにこの川で身を清めたという伝承が残っている。自然休養林のせせらぎコースが川に沿って伸びる。

占部左近の墓 占部左近は 15 世紀の初め三木の儒学者であったが十一面観音真言を学び三十三観音を巡り観音巡礼の中心中山寺で観音の示現を願い一心に祈った。その結果旧暦 7 月 9 日の夜三十三観音がすべて中山寺に降り立った。左近はこれに感激しここに草庵を結びすべての財産を里人の与え閉じこもったという。中山寺の 8 月 9 日に行われる星下り会式は三十三の観音が星になって中山寺に集まられるのに併せて大法会が営まれる。

シンボル広場 自然休養林の中心。自然休養林の入り口に当る。

中山桜台住宅 昭和 40 年代後半(1970 年前後)に開発された住宅地。長尾山山系の山上近くまで開発された。

天宮塚 天宮山(のろし山、おむすび山)は古くから修験者の行場となり、聖徳太子が修験場を整え天神を遥拝し国土安穏仏教祈願を行ったと中山寺で伝えられている。

中山(中山最高峰) 標高 478m。長尾連山の最高峰。3 等三角点がある。

惣川 生瀬橋の下流で武庫川に合流する 2 級河川惣川は十万辻付近を源流とする。

十万辻 源平合戦の頃源氏の兵が平家討伐のためここに多数集結したという。

鳥ヶ脇配水池 兵庫県一庫ダム(多田浄水場)から西谷地区に配水する水槽県道 325 沿ある

大峰山(北摂大峰山) 標高 552.3m、宝塚市第 2 の高峰。山頂の展望は悪い。3 等三角点がある。

桜の園「亦楽山荘(えきらくさんそう)」 面積約 40 ヘクタール、笹部新太郎氏(1887～1978)の桜の演習林で、最盛時には山桜、里桜が 30 種 5 千本が植えられていたという。現在は宝塚市の里山公園。「亦楽山荘」は建物を指すのではなく、演習林全体をさす。現在里山ボランティアグループ「櫻守の会」が保全活動を行っている。(現在園内一部通行止めあり)

兵庫県レッドデータブック 2010 植物群落里山林 C ランク

林間広場 大峰山から桜の園への入り口。子どもたちの林間学習の場である。

育樹の丘 市民が桜の植樹をした場所。東屋が設けられている。桜や紅葉の眺望がよい。

さくらの道 育樹の丘から左へ下ると笹部氏の桜研究の中心となった小屋(隔水亭)が復元されているロックガーデンを経て廃線跡へ(現在閉鎖中)、右に行けばさくらの道を経て廃線跡へ出る。

福知山線廃線跡 1897 年(明治 30), 私設阪鶴鉄道が尼崎・池田間の私設攝津鉄道を買収し, 池田駅(現在の川西池田駅)から宝塚まで開通し, 1898 年(明治 31)有馬口(1899 年に生瀬と改称), 1899 年(明治 32)年福知山まで開通した(福知山から舞鶴までは私設京都鉄道(後の山陰線))。この鉄道は日露戦争(1904～5 年)では軍隊や軍事物資の輸送に重要な役割を果たした。その後 1906 年(明治 39)国有鉄道福知山線になり, 1987 年(昭和 62)国鉄民営化により JR 西日本宝塚線となり、昭和 61(1986)年複線電化に伴い新線が建設されて武庫川渓谷沿いの線は廃線となった。

この廃線跡は市民に利用されるハイキングコースとなったが, 3 番目の長尾山第三トンネルの手前からは, 未整備, トンネル内の照明がない, 落石・倒木の発生のおそれがあるなどから, JR は正式に立ち入りを認めていない。事故の責任は負わない旨の看板を掲示して 1990 年(平成 11)から立ち入りを黙認している。

新田川(滝川) 大峰山北麓を源流とし、宝塚市が上水を取水している。

僧川 「ぼうさんがわ」ともいう。古宝山を源流とし、上流に宝塚市の上水を取水。

温泉橋 旧武田尾駅の改札口前の位置にあり、周辺に茶店がある。この辺りの家屋 23 戸は平成 16 年 10 月の 23 号台風で床上浸水の被害を受けた。

水管橋 神戸市水道局千苅水源池から西宮の上ヶ原浄水場への送水管、大正 8(1919)年完成、橋脚は近代土木遺産の一つ。

武田尾温泉 17 世紀に猟師武田尾直蔵が発見したと伝えられる。18 世紀中頃には武田尾温泉が金龍湯と呼ばれていたという文献がある。硫化水素をわずか含有する単純泉。旅館は 4 軒あり(紅葉館・マルキ旅館・河鹿荘・元湯)、15 時までなら日帰り入湯も可。

武田尾橋 吊橋、平成 16 年 23 号台風で流失、18 年に改築された。

JR 武田尾駅 80%がトンネルの中にある無人駅。西宮名塩駅との間はトンネルで結ばれた。